

支援方針

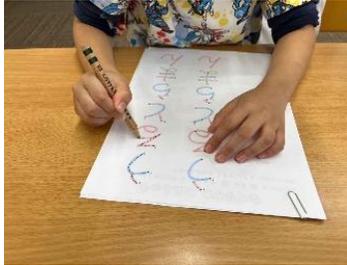
- 1) 今の年齢だからこそできる体験、経験を大人も一緒に楽しみながら、お子様の好きなこと、得意なことを見つけ自信を育てていく
- 2) お子様の発達や特性に合わせたプログラム内容を個別専門療育(平日2部制)と小集団・集団療育とを組み合わせ、様々な職種の職員が信頼関係を基盤にしなが支援する
- 3) お子様の理解者を増やすために、ご家族様との相談と関係機関との連携に力を入れ、誰からも大切に育てられる環境作りに努める

営業時間

10:00 ~ 17:00

送迎の有無

有



健康状態

- 〈健康・生活〉
- ・日常生活動作の獲得(手洗い、着替え、トイレ排泄、食事)
- ・片付け
- ・掃除



心身機能・構造

- 〈運動・感覚〉
- ・サーキット運動(トンネル、平均台、ケンケンバ)
- ・リズム遊び
- ・微細運動(ベグさし、積み木、運筆練習)

活動

- 〈認知・行動〉
- ・集団活動での指示理解(お集まり、昼食、午睡)
- ・SST(感情のコントロール、気持ちの切り替え)
- ・同年代との関わり(玩具の貸し借り、順番)
- 〈言語・コミュニケーション〉
- ・呼吸コントロール遊び、動作模倣
- ・絵本、絵カード
- ・自分の思いを表現する方法の獲得

参加

- 〈人間関係・社会性〉
- ・職員と対一でのやりとり
- ・ごっこ遊び
- ・ルール・決まりのある集団遊び



個人因子

- 〈体験・経験〉
- ・休日イベント(工作、クッキング、外出レクリエーション)
- ・公園、散歩、図書館利用、地域イベントの参加
- ・水遊び(7~8月頃)

環境因子

- 〈家族支援〉
- ・個別相談、グループ相談、子育てセミナー
- ・買い物支援
- ・ニーズに応じて個別支援シートの書類作成

- 〈移行支援〉
- ・通園・就園・就学先への訪問
- ・各機関の支援会議への参加
- ・事業所訪問の受け入れ
- 〈地域支援・連携〉
- ・関係機関訪問、支援会議参加
- ・支援の情報提供、関係調整
- ・相談支援事業所・事業所間連携
- 〈職員の質の向上〉
- ・チーム支援の相談体制
- ・職員研修(事業所内外)
- ・専門学校の実習受け入れ